

会議顛末書

							記 録 者	宮本 匠	
供 覧	市 長	副 市 長	部 長	次 長	課 長	課長補佐	主 係	査 長	グループ員
	/	/							
件 名	第3回松葉小学校跡地活用検討委員会								
年 月 日	令和7年11月9日(日)								
時 間	9時30分から12時00分まで								
場 所	松葉コミュニティセンター 多目的室								
出 席 者	<p>【松葉小学校跡地活用検討委員】 別紙のとおり</p> <p>【事務局】 総務部：仲村次長 管財課：生井課長、清原課長補佐、宮本主事（記録者）</p>								
欠 席 者	吉野委員、村田委員								
説 明 者	(1) 長山小学校跡地活用の進捗状況：説明者 清原 (2) 松葉地区住民向けアンケート調査結果報告：説明者 宮本 (3) 今後のスケジュール：説明者 清原								
内 容	1 開 会 2 議 事 (1) 長山小学校跡地活用の進捗状況 (2) 松葉地区住民向けアンケート調査結果報告 (3) 今後のスケジュール 3 その他 4 閉 会								
会議録署名人	披田委員、木本委員								
傍 聴 人	2名								
情 報 公 開	<input type="checkbox"/> 公 開				非公開（一部非公開を含む）とする理由				
	<input type="checkbox"/> 部分公開 <input type="checkbox"/> 非 公 開								

発言者	発言内容
事務局 (生井)	<p>定刻となりましたので、ただいまより、第3回松葉小学校跡地活用検討委員会を開会いたします。</p> <p>はじめに、会議の開催要件を報告いたします。</p> <p>本委員会は、検討委員会設置要綱第6条第2項により、「会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。」と規定されております。本日は、委員16名のうち、14名に出席いただいておりますので、会議の開催定数に達していることを報告いたします。</p> <p>次に、会議の公開について説明いたします。</p> <p>本会議は、原則として公開となりますが、個人に関する情報、法人等の不利益に当たる情報等は非公開とさせていただきます。ご了承ください。</p> <p>設置要綱第5条第2項により、委員長は委員会を代表し、会務を総理し、会議の議長となると規定されておりますので、廣田委員長に議長を務めていただき、議事進行をお願いしたいと思います。廣田委員長、よろしくお願いいたします。</p>
廣田委員長	<p>廣田でございます。よろしくお願いいたします。はじめに、本日の会議の会議録署名人を決めたいと思います。委員長からの指名となり恐縮ではありますが、今回は「披田委員」と「木本委員」をお願いしたいと思います。お二方よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">《両名から承諾の発声》</p> <p>お二方には、会議録がまとまり次第、内容をご確認の上、会議録のご署名をお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>「議事（1）長山小学校跡地活用の進捗状況」について、事務局から説明をお願いします。</p>
	<p>《資料に基づき事務局から説明》</p>
廣田委員長	<p>ただいま、事務局から説明がありました件について、ご意見やご質問などがあれば挙手の上、ご発言ください。</p>
披田委員	<p>長山小学校跡地活用の進捗状況資料内「松葉地区からは避難所が遠くなるのでは」との質問に対する市の回答について。一定規模の災害があった場合は、コミュニティセンターを福祉避難所として活用するもので、一般避難所は学校ということになっています。松葉は学校がなくてもコミュニティセンターがあるから大丈夫という説明をしたと思いますが、それは少し違うのではないかと思います。基本的には、北竜台学園の方に避難するということになると思います。</p>
渡辺委員	<p>質問なのですが、松葉と長山が合同で打合せ等を行う目安はどのように考えていますか。また、今回のアンケートの松葉と長山での共有はどのように考えられているのか。その2点をお聞きします。</p>
事務局 (清原)	<p>松葉と長山の意見交換に関しては、長山の方からやりたいというお話はいただいています。ただ、現段階では、どちらも意見出しの段階なので、ある程度まとまったところで行うのがよろしいと考えています。具体的な時期というのは申し上げられませんが、来年の中頃ぐらいで考えています。</p>
渡辺委員	<p>個人的な意見ですが、まとまってからでは調整機能が働かないと思います。長山は生活圏に商業施設がウエルシアぐらいしかないということで、困っている部分もあり</p>

	<p>ますし、今後例えば子育て世帯の入居者を増やそうということは、両方で行っては意味が無いわけで、どちらかに建てるという選択になってくると思います。それをどうするかは、最終的に市が判断するという事は理解していますが、意見がまとまる前に、両方で意見交換をしておくべきだと思います。</p>
事務局 (清原)	<p>意見交換の時期は検討させていただきます。また、アンケート結果につきましては、松葉のアンケート結果は長山の方に共有させていただきますし、長山の結果も松葉に共有させていただきます。</p>
廣田委員長	<p>その他ご意見はありますでしょうか。続いて「議事（2）松葉地区住民向けアンケート調査結果報告」について、事務局から説明をお願いします。</p>
	<p>《資料に基づき事務局から説明》</p>
廣田委員長	<p>ただいま、事務局から説明がありました件について、ご意見やご質問などがあれば挙手の上、ご発言ください。</p>
三浦委員	<p>このアンケート結果を委員はいただきましたが、一般の方にはどのようにしてお知らせされるのでしょうか</p>
事務局 (清原)	<p>次回の検討委員会の際に、アンケート結果の完成版を委員の皆さまにご覧いただき、その後にホームページで公開します。また、これはお願いになりますが、本日お示ししたアンケート結果の速報版を、可能であれば、各自治会や団体に持ち帰って議論していただき、次回の検討委員会の際にどのような意見や反応があったかを発表いただきたいと考えております。</p>
渡辺委員	<p>確認ですが、このアンケート速報版は公表しても構わないということでしょうか。</p>
事務局 (清原)	<p>はい。結構です。</p>
渡辺委員	<p>タウンハウスでは、回覧を行おうと考えています。また、松葉の広報誌でも今後掲載を検討します。</p>
事務局 (清原)	<p>回覧という発言がありましたが、本日 50 部ほどアンケート結果の速報版をご用意しておりますので、必要な方がいらっしゃれば会議後にお渡しします。</p>
湯原委員	<p>子育て世代である 40 代までの回答率が全体の 20%以下となっています。この方たちの意見を反映するとなると、もう少し自由記述で世代別の温度感などが知りたいなと思いますので、少数の意見になってしまうかもしれませんが、子育て世代の意見を要約した物を次回の完成版では出していただきたいです。その方が PTA や保護者の方でも検討がしやすいかと思います。</p>
事務局 (清原)	<p>今回の速報版では自由記述は割愛していますが、完成版ではほぼ全ての自由意見を掲載します。自由意見には 30 代女性・40 代男性のような表現をしますので、そこで世代別の意見は読み取れます。自由意見は、個人情報などを除きできるだけ原文に近い形でまとめる予定です。</p>
渡辺委員	<p>クロス集計はどのようにお考えですか。</p>
事務局 (清原)	<p>今考えているのが、Q19、Q20、Q21 の跡地活用の問いに対して、各世代がどのような回答をしたのかということはクロス集計を行おうと思っています。その他、アンケートを分析する中で、必要と思われる項目があれば掛け合わせていきたいと考えています。</p>
渡辺委員	<p>地区のクロスはどうでしょうか。</p>

事務局 (清原)	地区クロスも考えています。その他、クロスしてほしい項目があれば、本日ご意見をいただければと思います。
事務局 (生井)	男性ではこういう意見が多かった、高齢者の意見が多かったといったことも集計しようと思えばできます。
渡辺委員	私としては世帯の家族構成別で出してほしいです。お一人住まいの方もいらっしゃいますし、単身のアパートの方もいらっしゃいますから、年齢別も必要なのですが、家族構成別も必要になってくると考えます。例えば女性の方、男性の方というよりは、子どもがいらっしゃるのか、いらっしゃらないのか、高齢者が住んでいるのか。その方が、よりリアリティが出ると個人的には思います。これはやってみてどうなるかという話もあると思います。
披田委員	スケジュールの話になりますが、クロス集計したデータや自由記述について、委員会の開催とは別に早めに提供いただけないでしょうか。
事務局 (生井)	結果の報告に関してなるべく早くということですが、例えば速報版の第2号、第3号というような形は情報が錯綜しますので、望ましくないと考えています。次に提示する時は、完全版とする予定ですが、自由意見だけでも先にほしいということであれば、そのような対応をすることも可能です。
渡辺委員	完全版がいつ頃できるかによると思います。それがあまり遅いようであれば、例えば自由記述だけは先に欲しいということになると思います。予定だけで大丈夫ですので教えてください。
事務局 (生井)	できれば年内には作成したいと考えています。
渡辺委員	それであれば、2月の会議前には出せるということですね。そこで完成版をいただければよろしいかと思います。
大久保委員	1月から各団体との対話を行うと思うので、このアンケートで対話を進めていければ良いのかなと思います。今言ったようなスケジュールでやってもらいたいと思います。
渡辺委員	少なくとも1月上旬までにいただければと思います。
事務局 (生井)	年内にまとめさせていただき、完成次第、配布させていただきます。
三浦委員	Q19で一番多かった回答が「商業施設（買い物・飲食等）の充実」となっていますが、今が一番充実しているのではないかと個人的には感じます。この回答の受け止め方はどうされますか。現在ある施設以外の商業施設を要望されているのか、そうではないのかが分かりません。
小沼委員	おそらくこれは、Q21の飲食店や物品店舗、カフェといったようなものを合わせてしまうと一番多くなるということだと思いました。
仲村次長	先ほどの三浦委員の意見を確認したいのですが、今が充実しているということですが、アンケートの実施タイミングによって、意見が違うということでしょうか。
三浦委員	現時点でアンケートを取ったら、あまり意見は出てこないのかと思います。
小沼委員	アンケートの時期を明記すれば良いのではないのでしょうか。この時期にやりましたということを明記すればコメントも納得すると思います。
披田委員	アンケート作成の際にも議論があったと思いますが、ある程度方向性が絞られた中で、より詳細に聞き取りを行っていくのが良いと思います。例えば商業施設で具体的

	に何が足りないのかといったような。今後のやり方次第だと思います。
事務局 (生井)	例えばですが、本日の内容を各地域でお話をいただくにあたり、質問を投げかけてみるのも良いのかなと思います。商業施設という意見が多かったが、これは買い物なのか、飲食の方なのかといったようなことで、どのようなニュアンスで捉えているのかを聞いていただけると、本質的な部分が見えてくるかもしれません。
油原委員	今は車を運転できますが、例えば免許返納をした時にどうなるかということで変わってくると思います。そういう項目も欲しかったなと思います。
事務局 (清原)	例えば Q19 で「交通手段の充実」という項目があります。自由記述を見ると免許返納した後の生活という観点から、コミュニティバスをより充実させてほしいという意見もありました。福祉や買い物の充実というのは、免許返納後でも行けるような場所があったら良いなという着想で増えたのではないかと、事務局では分析しています。
湯原委員	回答年齢が 70 代、80 代の方で 300 人を超えており、Q17 で「将来的に今の住まいをどうされる予定か」との問いに対して、「子どもや親族等へ相続・贈与」と 300 人以上が回答されています。今住んでいる高齢者の方々が、概ね相続・贈与を検討しているということですが、もし相続・贈与をされたとしても、相続人がここに住んで子育てはしないと思います。もし、今後子育て世代が入ってくるとなった場合に、どこに住むかということが大事で、住む場所があるかということに関わってくると思います。住む場所をどうするかと言ったときに Q18 の空家対策が関係してくると思っており、相続や贈与をしたとしても、その空家をどうするかが大事だと思いますので、今回の年齢層と住まいをどうするかといった問いの結果から、空家対策をこの地域でどう展開して、定住する人を増やしていくかというところを課題感として出せないかと思います。
事務局 (清原)	どのようなクロスを掛ければ良いのか、すぐには思いつかないのですが、湯原委員から発言のあった Q17 については、顕著な結果が出たと思っています。この回答がどれだけ実現可能性があるのかという点で、例えば親世代がそう思っているだけで子どもまで合意を得ているのか、それとも親世代の空想なのか。最終的には若者世代に定住してもらいたいということがあるので、どのようなクロスを掛けるかは持ち帰って検討させていただきます。
油原委員	もっと市の方で都内に龍ヶ崎市を PR してほしいです。空家になっているところは安いですし、龍ヶ崎市は都内と比べると固定資産税が安いわけですよ。そういう魅力があるわけなので、このような物件があるという PR をしたら良いと思います。
仲村次長	当市の方でも LINE 等で発信しているということではありますが、どのようにして浸透させていくかは難しいところです。これにつきましては、引き続き情報発信を行い、できるだけ分かりやすい形で伝えていけるように努めます。
小沼委員	Q14 の「松葉地区に今後も住み続けたいとお考えですか」の設問で、住み続ける意向の方がどれくらいいるのかが分かるように、順番を入れ替えた方が良いと思いました。
渡辺委員	確認ですが、クロス分析は Q17～Q21 について行うということですか。どうするかはお任せします。
事務局 (清原)	アンケート結果は、見やすさや伝わりやすさに重点を置いて取りまとめを行っていきます。また、先ほど渡辺委員から話がありました Q3 の世帯構成別についてもクロス集計を検討します。

渡辺委員	1つお願いがありまして、年齢別の分母を出してほしいです。単純に20代30代の人と高齢者の人数を比較すると高齢者が多くなります。分母を明示して回答率を出していただきたいと思います。
事務局 (清原)	本日いただいたご意見を参考に、クロス集計を行っていきませんが、市内部の協議の中で、ここもクロス集計を掛けた方が良いという事項があれば追加させていただく場合もありますのでご了承ください。先ほど渡辺委員からお話しがありました、年齢別の分母についてもアンケート完成版では分かるようにしたいと思います。
大山委員	小中学校が統合されて、子どもたちも「こうなってほしい」という意見があると思います。子どもたちの意見は大切だと思います。今小中学校では、全児童・生徒にパソコンが渡されているので、たとえばChromeを使ってちょっとしたアンケートを行うことで、我々大人だけの意見ではなく子どもがどう思っているかを知ることができると思います。そういうことを行ってもらうことはできますか。
事務局 (清原)	できます。これから松葉地区に住み続けることになる、子どもたちの意見というのは、大切な視点だと認識しています。例えば、学校の授業の一コマを使用して「松葉小学校が閉校した後、どのような使い方がいいだろう」といった問いかけの中で、子どもたちの意見を引き出すということも、今後やっていきたいと思っています。今回のアンケート結果が、住民の意向をすべて反映しているとは思っておりませんので、学校開放団体、元気サロン松葉館の利用者等とも、個別に対話を行っていく予定であり、そこで得た意見も跡地活用の検討にフィードバックしたいと考えています。
廣田委員長	Q17の一番多い回答は「子どもや親族等への相続・贈与」となっていますが、親世代は子ども世代には聞いてないのかなと、子ども世代としては思います。湯原委員から、先ほど子育て世代としてご意見がございましたが、子育て世代としてはこういう家が良いとか、どこに住みたいとか何かご意見はありますか。
湯原委員	私自身は、交通の便・商業施設・自然環境が住み始めたきっかけであり、まさにこのアンケートのとおりです。家探しをする時、各不動産屋を一軒一軒回らないと空いているかが分からないということがあります。他の自治体では、町内会で空家情報を把握して、その情報を市に伝えて、市がこの地域であればここが空家になっているという情報を持っていて、マッチングができるという仕組みもあるようです。また、この地域の建築協定の建ぺい率が気になっており、例えば親と一緒に住みたいとなった際に、建ぺい率のハードルが高くて2世帯が作れないので、建築協定を見直すことで住みやすくなるのではないかと思います。選択肢として、親と一緒に住みたい、育ったところに戻りたいという人たちを周りで聞くので、その探しやすさや変わらないところをアップデートすることで、住みやすくなるのかなと思います。
廣田委員長	ありがとうございます。その通りかもしれません。2世帯で住みたいけれども狭いということがあり、松葉と他のところに住んでいるという方もいらっしゃいます。確かに、松葉地区に2世帯で住むのはなかなか難しいですね。
西村委員	相続・贈与の部分ですが、私の例になりますけれども、子どもは自分たちで生活を築き、将来的に帰ってくる予定はないため、自分たちがいなくなったときに処分するつもりです。このようなこともあるので、その空家に年老いた子どもたちが住むということだけではありません。そこを壊すことによって若い人たちが入っていただければと思います。
小沼委員	アンケートの横棒グラフは多い物から並べる方が見やすいのかなと思います。

事務局 (清原)	一般的には、質問の並び替えをせずにグラフを表示することが多いです。持ち帰って検討させていただきます。
廣田委員長	アイデアとしてですが、1番から3番までの番号を振るということで伝わりやすくなるのではないのでしょうか。見せ方の部分は事務局にお任せします。その他ご意見等ある方いらっしゃいますでしょうか。 それでは続いて「議事(3)今後のスケジュール」について、事務局から説明をお願いします。
	《資料に基づき事務局から説明》
廣田委員長	ただいま、事務局から説明がありました件について、ご意見やご質問などがあれば挙手の上、ご発言ください。
三浦委員	サウンディング調査の対象業種は、Q19で言えば一番要望が多かった商業施設だけに限定するのか、それとも他の業種もされるのか、そのあたりはどうなりますか。
事務局 (清原)	サウンディング調査につきましては間口を狭めないで公募型で実施したいと考えています。城南中学校のケースでも公募型で行っており、「松葉小学校やコミュニティセンター等が集積した場所でどのようなことができますか」というような聞き方を想定しています。
三浦委員	特に対象を絞らずに、土地を活用するという観点ということですね。
事務局 (清原)	はい。ただ、間口を広げるということではなく、第一種中高層地域といった住居系の土地であること、保健所さんが来ること、アンケート結果等も提示した上で、提案を求めたいと考えています。
披田委員	サウンディング調査は事業者からの意見やアイデアを出していただくことですが、その前に松葉・長山地区全体として2つの学校をどうしていくかということがあります。トータルでどういうまちづくりが考えられるか。そういうことで手を上げて意見を出してくれる業者がいるかは別として、まち全体のデベロップングを満たす大きさで言えば、再開発やブランディングといったようなレベルの事業者になってくると思います。特定の土地をどう使うかということに限定をしないで、全体の意見を聞く段階が先にあったほうが良いと思うのですが、その点はどのように考えていますか。
事務局 (清原)	周辺にどのような影響があるのか、にぎわいをどれくらい作れるのか。具体的な話で言えば、サウンディング調査の中で建物を使うのか使わないのかといった議論があると思います。サウンディング調査を実施する際には、松葉小学校の敷地面積、延べ床面積、アンケート結果、近辺の住宅の状況等を事業者に伝えた上で、それだったら事業者としてこのようなことができるのではないかと、逆にこのようなことをやりたいけれど資金繰りが厳しいなど、条件的な話も出てくると思います。明確な回答ができず申し訳ありませんが、サウンディング調査では単に施設整備だけではなく、まちづくりの視点に関しても意見を求めていきたいと考えています。
披田委員	松葉と長山をセットでサウンディング調査を行うのか、別々に行うのかという議論があります。別々に実施すると、そこだけの話になってしまうので、そこは考えていただきたいと思います。繰り返しになりますが、大きな流れがあつて、その中から方向性を絞り込んでいく作業を検討委員会が行うこととなりますので、その点についても考えていただければと思います。
渡辺委員	松葉と長山のサウンディング調査は別々に行うのでしょうか。

事務局 (生井)	委員の皆さまはどのようにお考えでしょうか。時期的には松葉と長山を揃えて実施することはできません。
渡辺委員	不特定多数に声を掛けるということですね。効率的に考えれば、一緒に実施するという方法もあります。それはどうお考えですか。
事務局 (清原)	同時期に施設が閉まって、まとめてサウンディング調査を行った事例もあります。給食センターを新設したため、用途を廃止した給食センター第1調理場、第2調理場の例です。その時のサウンディング実施方法は、第1調理場、第2調理場のどちらか一方での提案も可能ですが、できれば両方の提案をいただきたいという形としました。松葉・長山地区に当てはめると、例えば商業という話がでたときに、両方で同じ商業で活用すると商圈の奪い合いになってしまいますので、民間事業者側の視点からすると、松葉小学校と長山小学校の2物件を、近隣の住環境から、片方はスーパー、もう片方はフィットネスといったような、組み合わせやゾーニング等、様々な発想が出てくると思われますので、松葉と長山のサウンディング調査を同時に進めたいと考えています。
渡辺委員	大変理解しました。賛成反対ということではなく、まずはどう考えているかを確認したかったです。
事務局 (清原)	市役所の政策担当の部署で、企画課とまちの魅力創造課という課があり、松葉・長山小学校の跡地活用にとどまらず、空家対策、地域のにぎわいづくり、遊歩道をどうしよう等を検討していますので、松葉地区や長山地区の捉え方や、施策の方向性についてお話をする機会をいただいてもよろしいでしょうか。
渡辺委員	ホームページの理解では、他の市町村の取組事例なども持ってらっしゃいますので情報として併せて紹介していただきたいと思います。前は、どちらかという和学校跡地利用の事例集でしたので、それぞれのところでどうしているのか、もちろん成果が曖昧であることは承知しておりますので、そのあたりの紹介もお願いします。
事務局 (清原)	分かりました。 それでは、質問やご意見が無ければ、第4回目の会議日程を決めてもよろしいでしょうか。スケジュール上では2月の下旬とさせていただきます。
廣田委員長	《委員間の日程調整》 次回の委員会は、2月1日の14:00からとさせていただきます。 その他に質問等ある方はいらっしゃいますでしょうか。
渡辺委員	スケジュールの件です。市の管財課や代表者会議で確認した内容となりますが、検討委員会設立時に「経過報告と説明会を行います」と各自治会に承認を取っておりますので、令和8年度に住民説明会、またはアンケートを入れていただきたいです。この会議で不要ということであればそれも結構ですが、すでに自治会の承認をもらっていますので、覆す理由などがあれば良いと思いますが、昨年度までの協議経過もありますので入れていただきたいです。タイミングに関しては、サウンディング調査結果をまとめた後にできると思いますし、最終案の調整をした後にもそれなりの説明をしないといけないと思いますので、そこは入れていただきたいです。一応そういう形で去年は合意したはずです。
小沼委員	この委員会の協議結果は、各自治会に資料が配布され、ある程度は周知がされていると思うのですが、途中経過を住民説明会で説明するというのは何のために行うのでしょうか。

渡辺委員	跡地活用検討委員会は、ただ情報を流すだけではなく、なんらかの絞り込みをして、跡地活用の方向性を市に提言することになります。前回の会議で資料を配布していますが、事項の選択決定にあたっては、地域住民を対象としたアンケート調査・説明会を実施しその結果をもとに進めると謳っています。
小沼委員	会議内容は自治会に流れているのに、それでも説明会を実施するのはどうしてでしょうか。
渡辺委員	その場合ですとワンウェイになります。皆さまで決めていただければ結構ですが、説明会を実施しないという場合には、各自治会に再度確認しなければなりません。
湯原委員	提案ですが令和8年2月はどうでしょうか。アンケート結果公表となっています。
渡辺委員	それでいうと、令和8年8月のサウンディング調査結果取りまとめ後の方が良いと思います。住民だけの意見で公表しても意味がありませんので、サウンディング調査による市場性の評価と合せて情報を出していけば良いのではないのでしょうか。そのあたりを中間報告の時期とするのが良いのかなと、個人的には思います。それを基に本格的に提言をまとめていけば、住民の意見を踏まえた案になると思います。
披田委員	湯原委員は今年度、渡辺委員はサウンディング調査がまとまった段階でということですが、内容がある程度整理できた段階で中間報告をした方がよいと思います。
廣田委員長	事務局の方で令和8年度のスケジュールに予定を入れていただければ良いのかなと思います。ただ、住民説明会の意見で議論が2転3転すると、まとまらなくなりますので、住民に周知するだけでよろしいのかなと個人的には思います。細かい時期等の話は今後検討としたいと思います。 その他につきまして、事務局からお願いいたします。
	《五霞町定住促進住宅の事例紹介》
廣田委員長	ただいま、事務局から説明がありました件について、ご意見やご質問などがあれば挙手の上、ご発言ください。
渡辺委員	この資料は頂けるのですか。
事務局 (清原)	はい。メールで情報共有をさせていただきます。五霞町の方で詳しい内容がホームページに記載されておりますので、ご一読いただければと思います。
渡辺委員	境町の事例も紹介していただくことは可能ですか。
事務局 (清原)	はい。
西村委員	これは子育て世代向けの住宅でしょうか。
事務局 (清原)	境町でも同様ですが、下の子が18歳未満の方しか入居できない住宅となります。そのため、子育て世代向けの住宅と言って差し支えありません。
廣田委員長	その他、ご意見ございますでしょうか。無いようですので、本日の議事はこれで終わりになります。ありがとうございます。進行を事務局にお返しします。
事務局 (生井)	廣田委員長、議事の進行ありがとうございます。最後に、事務局から連絡事項を申し上げます。
事務局 (清原)	本日はおつかれさまでした。事務局から連絡事項が3点ございます。 1点目は今後の会議予定についてです。次回の会議は、2月1日14時から松葉コミュニティセンター多目的室で開催します。会議日程が近づきましたら、事務局から別

途開催通知を郵送させていただきます。

2点目は、本日ご審議いただきました住民アンケートについてです。これはお願いになりますが、本日の速報版を基に自治会等で共有・意見交換を行っていただき、次回会議に自治会等の意見があれば、ご発言いただきたいと思います。アンケートの紙資料を本日 50 部程度持参しておりますので、必要であればお申し付けください。

3点目は会議の公開についてです。本日の会議内容や資料については、会議録署名人及び委員長に確認いただいた後に、市公式 HP に公開させていただきますのでご了承ください。また、前回同様に事務局で会議録のダイジェスト版を作成し、情報共有させていただきますので、よろしくお願いいたします。

事務局からは以上となります。ありがとうございました。

令和7年度第3回松葉小学校跡地活用検討委員会会議録について、上記のとおり相違無いことを確認しました。

令和 年 月 日

委員長

会議録署名人

会議録署名人
